

1.1. 2005年3月期の決算総括

1 連結ベース

- ▶ auの好調により、固定通信事業等他セグメントの減収を吸収し、売上は対前年同期比2.6%の増収、営業利益は同1.4%の増益
- ▶ 有利子負債残高は3月末、8,646億円に削減

2 au事業

- ▶ 売上対前年比14.2%、営業利益同14.0%の増収・増益
- ▶ 着うたフル™好調、累計ダウンロード500万曲突破(4月3日)
- ▶ 2年連続純増トップシェア(50.4%)達成、WIN契約者は3月末325万と着実に増加

3 固定通信事業(旧BBC &ソリューション)

- ▶ インターネット収入の伸びも貢献し、売上の減少幅は縮小傾向にあるものの、メタルプラス拡販により、営業利益 3億円に

4 ツーカー事業

- ▶ シンプル端末「ツーカーS」により、シニア層拡販

5 事業再編

- ▶ PHS事業譲渡(04.10月)とツーカー3社の完全子会社化(05.3月末)
- ▶ 子会社の再編: KDDIエボルバ(テレマーケティング他)、KNSL(固定通信)
KDDI-テクノ(保守関連)

1.2. 2006年3月期の業績見通し

05.3期実績 06.3期予想(増減)

1 連結ベースでは、au事業での409億円の2桁増益(15%)により、メタルプラス拡販による固定通信での417億円の減益をほぼカバーし、対前年比増収・利益微減を計画

▶ 売上	: 29,200億円	29,760億円 (+ 560億円)
営業利益	: 2,962億円	2,890億円 (72億円)

(参考)ポケット除外ベース
+ 1,428億円
17億円

▶ 主な理由

✓au ARPU	: 7,170円	6,810円 (360円)
累計契約数	: 1,954万	2,154万 (+ 200万)
✓メタルプラス累計契約数	: 4万	220万 (+ 216万)

2 設備投資は主にauのカバレッジ充実、2GHzへの投資増加、メタルプラスのカバレッジ拡張により、4,400億円(+976億円)の見通し

3 FCFは設備投資の増加(976億円)に加え、05.3期のPHS事業の上期実績と事業譲渡関連(2,037億円)の影響がなくなるため、430億円(3,592億円)の見通し

(注)数値はセグメント表示があるものを除き、全て連結ベース。

1.3. 2006年3月期の課題

- 1 持続的成長に向けた確固たる土台づくりを行うべく、顧客獲得を強化
 - ▶ ブランド力強化とお客様満足度の向上、コンプライアンスの徹底
 - ▶ 「KDDIの強み」を発揮すべく、FMC型サービスの開発

- 2 au事業
 - ▶ EZ着うたフル™拡充等auの独自性追求による商品力強化
 - ▶ EV-DOのネットワークの強みを活かし、幅広い層へのWINのデータ定額制拡販
 - ▶ モバイルソリューション:商品開発力強化とソリューションとのセット販売の推進

- 3 固定通信事業(旧BBC & ソリューション)
 - ▶ 固定通信事業再構築に向けて、主にメタルプラスを中心とした直収型サービスの拡販

- 4 TU-KA事業
 - ▶ シニア層へのフォーカスにより、安定的な顧客基盤の確立